



11月19日、部分月食を観測！

令和3年11月19日(金)の夕方、天気にも恵まれ、今年2回目の月食を見ることができました。



写真① 月食のようす (18時00分ごろ撮影)

月食は、地球のかげのなかに月が入って暗くなり、欠けたように見える現象のこと。今年5月26日には、地球のかげのなかに月全体が入る「皆既月食」が起こりました。

今回は、地球のかげに月の一部が入り、欠けたように見える「部分月食」ですが、食分98%（月の直径の98%までが地球のかげに入る）のほぼ皆既月食といえるほど大きく欠けて見える「部分月食」となりました。

この日、月が欠けはじめるのは16時18分ごろ。浅口市の月の出は16時55分（日の入り16時59分）なので、月が欠けた状態でのぼり、当館から月が見えはじめた17時10分ごろには、月が半分以上欠けて見えました。月がもっとも欠けて見える食の最大（18時02分）のころには、皆既月食と同じように、欠けた部分が赤銅色に色づき、近くのすばる（散開星団）もきれいに見えていました（写真①②）。部分月食も終わりに近づくと（写真③）、影ができるほど月が明るくなったことにも気がつきました。

当館では、この部分月食にあわせて、「こども天文クラブ」の特別活動を行い、クラブ員14人とその保護者と一緒に観察しました（写真④）。

また、部分月食のようすは、YouTube 岡山天文博物館チャンネルからライブ配信しました。（アーカイブ配信を見ることができます。）

- YouTube 岡山天文博物館チャンネル（右のQRコードからアクセス）
- YouTube 「2021年11月19日 部分月食@岡山天文博物館（岡山県浅口市）」
<https://youtu.be/Udol72Ez5b4>



写真② 月食と京都大学「せいめい望遠鏡」ドーム (18時00分ごろ撮影)



写真③ 月食のようす (19時30分ごろ撮影)
※ライブ配信の画面より取り込み



写真④ 「こども天文クラブ」特別活動のようす

